

インターンシップに関する意識調査報告

Attitude survey report about the internship

芦谷 宏子・金岡 優子

ASHITANI Hiroko and KANEOKA Yuko

「インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組推進に当たっての基本的考え方」(令和4年6月13日一部改正 文部科学省・厚生労働省・経済産業所)を踏まえて、本学大学2・3年生を対象に実施した、インターンシップに関する意識調査の結果をまとめた。

学びと将来を結びつけるきっかけの1つとして、インターンシップに取組む意欲は強く持っているようだが、将来のキャリア決定や職業選択への不安などから行動を躊躇する状況が把握できた。また、自己prに不安を持っている学生が非常に多い結果を得られた。

1. 背景と目的

令和4年6月13日付けで、インターンシップに関する基本的認識や推進方策を取りまとめた「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」(文部科学省、厚生労働省及び経済産業省合意)が改正された。1大学などにおけるインターンシップを始めとするキャリア形成支援に係る取組みについてでは、学修と社会での経験を結びつけることで、学修の深化や学習意欲の喚起、職業意識の醸成につながるものであり、その教育的効果や学生のインターンシップを始めとするキャリア形成支援における効果が十分に期待できる重要な取り組みである。と示されている。

また、一定の基準を満たしたインターンシップで企業が得た学生情報を、広報活動や採用選考活動に使用できるような見直しがあった。令和5年度以降に参加する学生にとって、インターンシップの重要性が実感できる改正である。

本学では、共通教育科目「比治山ベーシック科目」の中で、キャリア形成科目を提供している。講義の目的は、「一人の人間として人生をいかに生きるか」という生涯にわたる人生設計を考える内容となっている。今後、自発的に卒業後の進路を選択し、社会的に自立できる力を育むために、学びと社会との接続を実感する経験としてインターンシップの役割は重要になってくると感じている。

学生たちは、インターンシップをどのように捉え行動しているのかを確認するために、大学3年生・大学1・2年生に対してアンケートを実施した。

2. 本学におけるインターンシップの取組

2022年度(令和4年)は、「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」に則し、インターンシップ類型タイプ3の汎用型能力・専門活用型インターンシップを、大学2・3年生・短期大学部2年生を対象に「インターンシップA」(同一受入先5日以上)・「インターンシップB」(同一受入先

10日以上)の選択科目を開講している。

学生へ向けてインターンシップに関する情報提供については、選択科目「インターンシップA」「インターンシップB」の授業内、キャリアセンター主催で実施している就職活動支援プログラム、大学2・3年生が事前登録した学内就活情報サイト(HIJIキャリア・Googleクラスルーム)などから頻繁に情報発信をしている。

また、広島県インターンシップ促進協議会・広島市有給長期インターンシップ・就職支援サイト(リクルート・マイナビ・キャリアス等)、様々なインターンシップ情報を入手できるように有効活用している。

単位が修得できるインターンシップ以外について、様々な企業が実施している1day仕事体験など、学生には積極的に情報を提供し参加を促している。

3. 大学3年生対象のアンケート結果(2023年1月)

実施方法 学内配信サイトから大学3年生に依頼(返信期間2023.1.23~1.31)

筆者が担当する授業内(大学3年生選択科目)ネットアンケートの実施

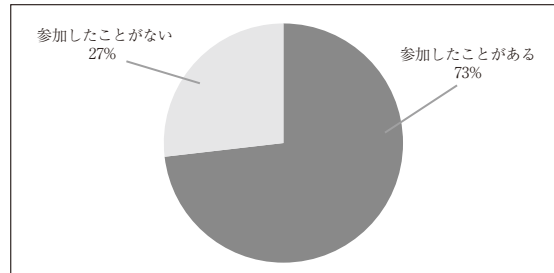
返信(回答)人数 110名

※このアンケートでは、従来インターンシップと総称していた1dayインターンシップ等も含んだ質問となっていること、また、タイプ1オープン・カンパニーの取組も組み込んだ回答となっている。

※全国的なインターンシップ参加現状を把握するために、株式会社ディスコ インターンシップ特別調査 ~キャリアス就活2024 学生モニター調査(2023年3月)のデータを、参考・比較資料とした。

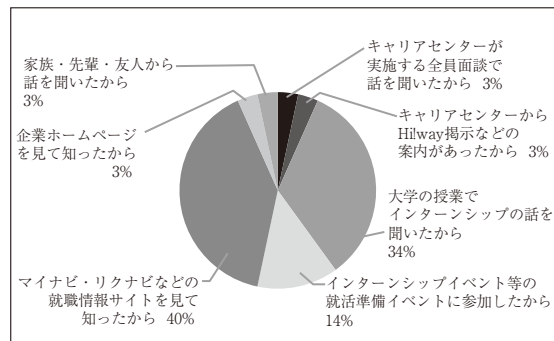
① 大学3年生は、後期終了時の時点で73%の学生が何らかのインターンシップに参加している結果となった。全国的なデータ(株式会社ディスコ 調査データ。以下全国データと称す)を確認すると、大学3年生(24年卒)3月調査の時点では、91.4%が参加したことがある。との結果だった。

① 大学入学後、これまでにインターンシップに参加したことがありますか。



② インターンシップに参加しようと思ったきっかけは、就職情報サイトを見て知った40%、大学の授業でインターンシップの話聞いたから34%、就活準備イベントに参加したから14%だった。インターンシップに参加した学生は、ほぼ直接情報を知る機会の中で決断したようだ。全国データでは、就職情報サイト49.6%、企業のホームページ20.7%だった。また、大学(キャリアセンター・ガイダンス等)は4.7%だった。

② インターンシップに参加しようと思ったきっかけを教えてください。



4. 大学3年生のアンケート結果を踏まえて

新型コロナウイルス感染拡大の影響で多くの制約に直面した学生たちは、対面授業も制限され、社会とのつながりや友人関係の構築が難しくなり、学生生活に必要な情報収集やコミュニケーションスキルの向上の機会も抑制された。

2022年度は、できる限りインターンシップに関する説明を対面で実施してきた。直接学生に情報を提供することが、自発的・積極的にインターンシップに参加しようと考え行動につながる結果が得られたと感じている。今後も直接適切な情報などを提供し、さまざまな体験を促す支援を実施し続けることで、学生たちの自信や積極性に繋げていきたい。

参加のきっかけの結果から「授業内での情報提供」、「就職情報サイトの活用」、「イベント参加」などが上位を占めており、これらの促進に取り組むことを今後も継続していきたい。インターンシップへの参加が今以上当り前に感じる意識改革を目指し、情報の提供方法や自己分析の探求機会等を増やすように整備していきたい。

また、テキストマイニングを分析すると、自分自身に不安感を抱いている結果が出た。応募企業の選択や書類の作成、選考方法、参加時の行動など、未知の体験には勇気が必要で心配だと感じることは当然である。就職活動直前を迎えた学生には、自分に自信を持ち積極的に行動することが重要だと考える。今以上学内においても、社会との交流機会を増やすプログラム等を検討していきたい。

5. 大学1.2年生対象のアンケート結果（2023年1月）

実施方法 学内配信サイトから大学1.2年生へ依頼（返信期間2023.1.20～1.31）

筆者が担当する授業内（大学2年生選択科目）ネットアンケートの実施

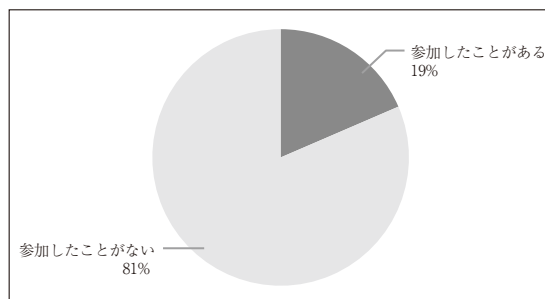
返信（回答）人数 49名

※全国的な学生の認知と参加意思などを把握するために、株式会社ディスコ インターンシップの新定義に関する認知度調査 ～キャリアタス就活2025卒 会員調査（2023年3月）のデータを、参考・比較資料にしている。

① 参加したことがある大学1.2年生は19%であった。本学では2021年度入学者から、タイプ3に対応するインターンシップについて、大学2年生に単位を修得できるように改正したが、浸透にもう少し積極的な取り組みが必要だと感じている。

全国データでは、参加率は把握できなかったが、インターンシップ新定義と認知度について、大学2年生で新たに定義されたことを知らないが55.5%だった。

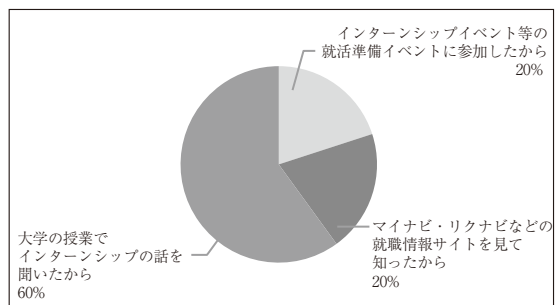
① 大学入学後、これまでにインターンシップに参加したことがありますか。



② 参加したことがある学生に、参加のきっかけを質問すると、大学の授業でインターンシップの話聞いたからの回答が60%で最も多かった。

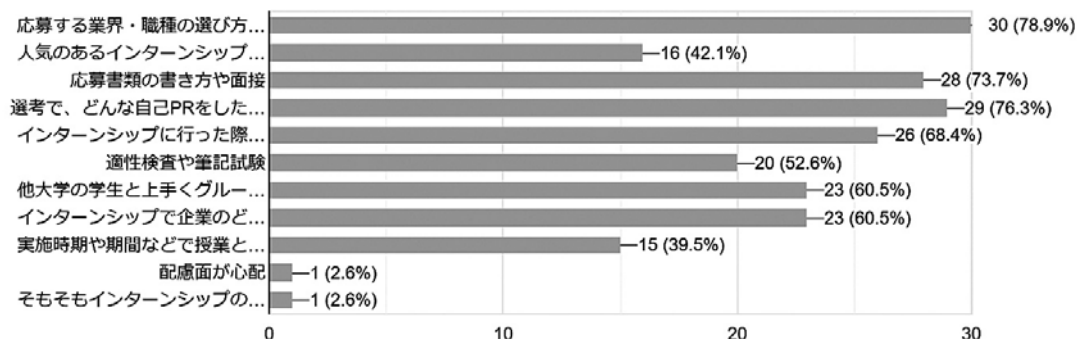
全国データは同様のアンケート集計はなかったが、各タイプの参加意向（文系）の結果を見ると、タイプ1オープン・カンパニーは62.2%、タイプ3-①汎用的能力活用型案ターンシップは58.2%だった。就業体験を必須とせず、短期間で様々な企業の情報を収集できる機会を望む傾向が強いと感じられる。

② インターンシップに参加しようと思ったきっかけを教えてください。



③ インターンシップに参加する企業選びについて、不安に思うことを選んでください。（複数選択可）

38件の回答



- 1位 78.9% 応募する業界・職種の選び方・絞り方について
 - 1位 76.3% 選考で、どんな自己PRをしたらいいか（自己分析のやり方）
 - 3位 73.7% 応募書類の書き方や面接
 - 4位 68.4% インターンシップに行った際の基本的なビジネスマナー
 - 5位 60.5% 他大学の学生と上手くグループワークができるか
 - 5位 60.5% インターンシップで企業のどんなところを見ればよいのか分からない
- 以上の結果となった。

④ 大学2年生不安感集計結果 テキストマイニング ワードクラウド（スコア順） インターンシップに参加する企業選びについて、不安に思うことを選んだ結果をスコアが高い単語を複数選出、その値に応じた大ききで図示している。

※ ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://wordcloud.userlocal.jp/>) 分析

厚生労働省HP インターンシップについて

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000133085.html#internship>

概要資料「令和5年度から大学生等のインターンシップの取扱いが変わります」

<https://jsite.mhlw.go.jp/hokkaido-hellowork/content/contents/001408482.pdf>

株式会社ディスコ インターンシップ特別調査 ～キャリアタス就活2024 学生モニター調査（2023年3月）

https://www.disc.co.jp/wp/wp-content/uploads/2023/04/internshipchosa_202304.pdf

文部科学省HP 令和3年度大学・短期大学・高等専門学校におけるインターンシップ実施状況について

https://www.mext.go.jp/content/20220127-mxt_gakushi01-000010706_01.pdf

テキストマイニング <https://wordcloud.userlocal.jp/>

テキストマイニングとは、テキストデータを計算機で定量的に解析して有用な情報を抽出するための様々な方法の総称であり、自然言語処理、統計解析、データマイニングなど基盤技術の上に成り立っている。

松村真宏, 三浦麻子, 人文・社会科学のためのテキストマイニング, 誠信書房 2009

株式会社ディスコ インターンシップの新定義に関する認知度調査（2023年3月発行）

https://www.disc.co.jp/press_release/9769/

〈キーワード〉

インターンシップ, キャリア形成, 自己分析, 将来設計, 社会への適応力

芦谷 宏子（現代文化学部マスコミュニケーション学科）

金岡 優子（教務課）

（2023.10.24 受理）